

光の雨 (2001)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 130分
初公開日 2001/12/08
公開情報 シネカノン

【キャッチコピー】

革命をしたかった。

【解説】

戦後昭和史の中でも最大級のインパクトをもたらした1972年連合赤軍の同志リンチ事件にスポットを当てた話題作。映画は、その連合赤軍を題材にした立松和平の小説『光の雨』を映画化しようとする“現在の人々”の物語として描かれ、フィクションとドキュメンタリーを融合させたような構成になっている。監督は高橋伴明。

CMディレクター樽見の初監督作品は、連合赤軍による同志リンチ事件を描いた小説『光の雨』の映画化だった。そのメイキング撮影を依頼された若手映画監督・阿南は快諾し、オーディションからカメラを回し始める。若手俳優たちは阿南のカメラに向かって、30年前に実在した、自分たちと同世代の革命闘志の心情がうまく掴めないことを語る。キャストが決定し、撮影はいよいよ本格的にスタート。吹雪吹き荒れる極寒の地・知床での合宿ロケが始まった。だが“総括”シーンの撮影が続く中、樽見監督が現場から突然姿を消してしまう……。

【クレジット】

監督	高橋伴明	
製作総指揮	高橋紀成	
プロデューサー	青島武 森重晃	
原作	立松和平	『光の雨』（新潮社刊）
脚本	青島武	
撮影	柴主高秀	
音楽	梅林茂	Shigeru Umebayashi
照明	渡部嘉	
録音	福田伸	
助監督	瀧本智行 金丸雄一	
出演	萩原聖人 裕木奈江 山本太郎 池内万作 鳥羽潤 小嶺麗奈 川越美和 塩見三省	

大杉漣
高橋かおり
金山一彦
大柴邦彦
一條俊
板谷由夏
西守正樹
山中聡
松田直樹
西山繭子
蟹江一平
近藤大介
矢澤廣
関川侑希
玄覚悠子
佐藤貢三
大和屋ソセキ Soseki Yamatoya
三上大和
恩田括
金子貴俊
白石朋也